

みずチャンネル

会津若松市上下水道局広報

つながるあいづわかまつ



上下水道局
ホームページ



上下水道局
Instagram

令和8年9月号

No. 27

水道週間児童生徒作品展表彰式を開催しました
入賞者の皆さんおめでとうございます！



第68回 水道週間児童生徒作品展 を開催しました！

7月10日（金）から7月14日（火）まで、會津稽古堂にて第68回水道週間児童生徒作品展を開催しました。6月の水道週間に合わせて、小中学生を対象に図画や書写などの作品を募集するこの作品展ですが、今年も多く素晴らしい作品が寄せられ、来場された多くの方で賑わっていました。受賞された皆さん、おめでとうございます！

◎問い合わせ…上下水道局総務課（☎22-6073）



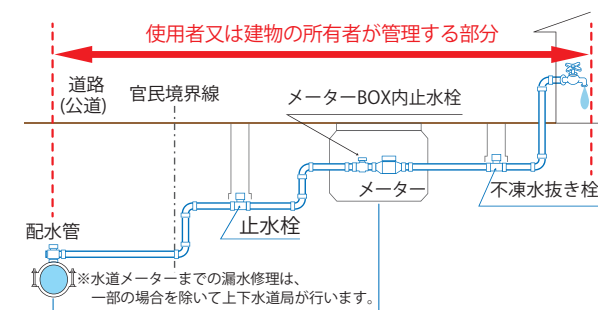
入賞作品は
こちらを
チェック！



給水装置はあなたの財産です

宅地内に設置してある給水管や蛇口などの給水装置（水道メーターを除く）は、使用者（所有者）の財産です。故障や漏水が発生した場合は、使用者などの負担により修理が必要です。定期的にメーターを確認して、漏水や故障を早期に発見しましょう。

◎問い合わせ…会津若松アクアパートナー（株）
（☎22-6171）



9月10日は「下水道の日」

下水道の全国的な普及を図ることを目的として昭和36年に始まった「全国下水道促進デー」ですが、平成13年にはより親しみのある名称として「下水道の日」に変更され、今も下水道に対する理解・関心を高めるための活動を行っています。

下水道は、家庭などから出る汚水を下水処理場に運んできれいにしたり、大量の雨水を速やかに排除したりして、市民の安全で快適な暮らしと良好な環境を守る、重要なライフラインのひとつです。この機会に、下水道への関心を深めていただき、下水道普及へのご理解とご協力をお願いします。

わたしたちの取り組み

下水道を接続していないご家庭に、下水道の接続を依頼する戸別訪問や、出前講座や各種イベント等を通して下水道の普及促進を図るための活動を行っています。

◎問い合わせ…下水道施設課
（☎23-9507）



水道料金等の支払い・
開閉栓に関する問い合わせ
上下水道料金センター
☎22-6172

水道のトラブルに関する
問い合わせ
会津若松アクアパートナー（株）
☎22-6171

下水道（使用料以外）に関する
問い合わせ
下水道施設課
☎23-9507

もしも明日、 蛇口から水が出なくなったら？



見えない地下で静かに進む**老朽化**の現実

6月号では、人口減少により水道を支える「料金収入」が厳しくなっていることをお伝えしました。しかし、私たちの水道が直面している危機は「お金」だけではありません。今回は、皆さんの足元深くで静かに進行している、もう一つの危機——「**施設の老朽化**」についてお伝えします。

現実
1

拡張の時代を支えた水道管、老朽化の波

市の水道は昭和4年に給水を開始し、その後の人口増加や生活様式の変化に合わせて拡張を重ねながら、市内一円に水道管を整備してきました。

水道管の法定耐用年数（寿命の目安）は40年とされています。これはあくまで目安の年数ですが、老朽化による漏水の発生リスクがどんどん高まっていることを示します。市ではすでに耐用年数を超えて使い続けている水道管も少なくありません。

古くなった水道管は内部のサビや腐食が進行しています。このような水道管をそのまま放置すれば、濁り水や漏水による断水だけでなく、道路の陥没など、皆さんの生活に直接的な影響を及ぼす事故につながる可能性が高くなります。



新しい水道管へ！

現実
2

片時も止まれない浄水場に老朽化の足音

安全な水を作る浄水場も例外ではありません。水を送るポンプなどの機械や電気設備は、片時も休むことなく働き続けており、安全な水の供給のために止めることができません。今後は、耐用年数を大きく超えて使われ続ける「老朽化資産」が急速に増えていく見込みです。

これらの設備は、いつ故障してもおかしくない状況に近づいており、計画的な更新が必要となっています。



毎日働き続ける水道設備（滝沢浄水場）

現実
3

いつ来るかわからない大地震に備えて

7月に起きた「令和8年熊本地震」のように、近年、全国各地で大地震や自然災害が頻発しています。災害時でも水道を使えるようにするためには、水道管を地震などに強い「耐震管」へ取り替えることが重要です。令和5年度時点の市の水道管全体約818kmのうち、耐震管は99km、耐震管率は12.1%となっており、全国平均20.6%と比較低い状況です。そのため、将来に向けて耐震管を整備していく必要があります。

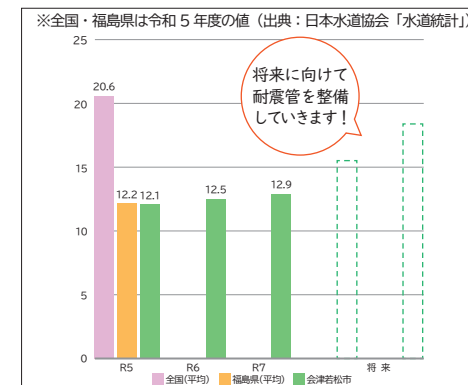


図1：耐震管率（%）の推移



おしえて!こしえるん

みんなのギモンをカイケツ！

Q 古くなったらすぐに新しい水道管に換えられないの？

A すぐにはむずかしいんです。

市内の水道管をぜんぶつなげると、いったいどれくらいの長さになるのでしょうか？なんと、**会津若松市から山口県くらい**まで届く長さなんです！これらをすべて新しくするには、とても長い「時間」とたくさんの「お金（皆さんからの水道料金）」がかかります。人口が減って収入も少なくなっている中で、どの水道管から取り替えていくか、市では優先順位をつけて計画的に交換を進めています。



「お金がないから」と老朽化した施設を放置することは、将来、水が出なくなるリスクを先送りすることと同じです。安全な水道を次世代へ引き継ぐため、市では更新の優先順位づけや効率的な更新工事に全力で取り組んでいます。（取り組み事例は以下のQRコードで確認できます。）

しかし、6月号でお伝えした料金収入の減少と、今回お伝えした施設の老朽化が同時に進む中、こうした取り組みだけではすべてを支えきれないわけではないのも事実です。

限られた財源の中で、安全・安心な水道をどう守っていくのか。水道事業が直面しているこの現実を、今後も皆さんにお伝えしていきます。

◎問い合わせ…経営企画課（☎ 23-7227）

上水道施設課（☎ 22-6177）

次号予告

未来の水道をまもる 市の『新たな挑戦』!!

次号は、施設のダウンサイジング（適正規模化）や、AIによる水道管の劣化度診断、センサーを使った漏水調査など市が進める**デジタル技術（DX）**の取り組みを特集します。限られた人員でこれまでと同じ安全な水道を維持していくための挑戦を、分かりやすくご紹介します。

水道をまもる取り組み をご紹介します!!



水道 DX



水道管の耐震化